

第 65 回アジア太平洋プライバシー機関（APPA）フォーラム コミュニケ（仮訳）

中華人民共和国香港特別行政区個人データ・プライバシーコミッショナー・オフィス（PCPD）は、2026年6月16日及び17日、香港特別行政区において、第65回アジア太平洋プライバシー機関（APPA）フォーラムを対面及びオンライン形式で開催した。

本フォーラムには、アジア太平洋地域の16のAPPAメンバーから、約100名の代表団が参加した。また、世界各地からオブザーバー及び招待ゲストも出席し、これにはプライバシー・データ保護機関、国際的なプライバシーネットワーク、シンクタンク、研究開発機関及び産業界・学術界の関係者が含まれる。

2日間のフォーラムでは、APPAメンバー、オブザーバー及び招待ゲストが、特に人工知能（AI）やその他の新興技術の利用から生じる課題を始めとする、幅広いタイムリーなプライバシー課題、規制に関する経験及び動向並びに法執行における課題について、共有及び議論を行った。

フォーラムで取り上げられた主なテーマは以下のとおり：

- 法制度の動向
- 執行上の課題
- データ侵害
- エージェント型AIを含むAI及び新興技術のガバナンス
- こどものプライバシー

本フォーラムは、メンバー限定セッション、メンバー及びオブザーバーによるクローズドセッション、さらにメンバー、オブザーバー及び招待ゲストが参加する、より幅広い参加者で構成されるセッションの3つで構成された。

1日目

第65回APPAフォーラムは、香港PCPDのエイダ・チュン委員による開会挨拶により幕を開け、APPAメンバーに対して香港への歓迎の意が示された。香港特別行政区憲政・本土事務局のクレメント・ウー・キンマン副局長による祝辞を含む開会行事が行われ、第64回APPAフォーラムの議事録の承認をもって式典は終了した。

続いて正式議題に入り、APPAガバナンス委員会の議長を務めるシンガポール個人データ保護委員会（PDPC）から報告が行われた。また、APPA事務局より「個人情報の不正流通に関するワーキンググループ」の正式設立が発表され、韓国個人情報保護委員会（PIPC）がその議長を務めることとなった。

その後、マカオ特別行政区個人データ保護局（PDPB）が議長を務めるコミュニケーション・ワーキンググループ及びシンガポールPDPCが議長を務めるテクノロジー・ワーキンググループからの報告が続いた。

さらに、APPAメンバーは「普及・啓発」と「事案調査」の2つのテーマの下でジュリスディクション・レポートの報告を行い、それぞれの法域における主要な最新動向について共有した。

また、シンガポールPDPCのデニス・ウォン委員がモデレーターを務めるパネルディスカッションが開催された。パネリストは、各法域における進化する執行手段、国境を越え、多くの当事者が関与する環境での法執行の経験、国境を越えた連携や規制当局間の協力などについて議論を行った。

1日目は、コミュニケ草案に関する議論の後、香港PCPDによる閉会の辞をもって終了した。

2日目

2日目は、香港PCPDのエイダ・チュン委員による短い導入と1日目の議論の概要説明から開始された。

その後、各メンバーによって残りのジュリスディクション・レポートの報告が行われ、「法制度の最新動向及び指針」をテーマとして各法域の最近の動向が共有された。

続いて、メンバー限定の集合写真撮影の後、メンバー及びオブザーバーが参加する中で、国際的なプライバシーネットワーク及び組織からの最新の動向に関する報告が行われた。

また、アフリカ・データ保護当局ネットワーク（NADPA）の活動について、国家データ保護委員会のファウスティノ・ヴァレラ・モンテイロ委員長がビデオメッセージにより紹介を行った。

午後のセッションは、APPAメンバー、オブザーバー及び招待ゲストが参加し、AI及び子どものプライバシーを中心テーマとして行われた。「エージェント型AIを理解する：主なデータ保護とプライバシーにおけるリスク」及び「中国のAIガバナンス2025～2026」の2つの専門家によるプレゼンテーションが行われた後、香港PCPDのエイダ・チュン委員及びシンガポールPDPCのデニス・ウォン委員の共同司会によりラウンドテーブルディスカッションが実施された。このディスカッションでは、エージェント型AIがもたらすプライバシー及びデータ保護上の課題に焦点が当てられ、参加者間で、新興AI技術の安全で信頼できる発展を支えるためには、組織的な安全対策の強化、適時の規制ガイダンスの提供、国際協力及び一般向けの啓発活動が重要であることが確認された。

フォーラムの最終セッションとして、カナダプライバシーコミッショナーオフィス（OPC）国際・国内・ステークホルダー関係局長のミゲル・ベルナル・カスティレロ氏がモデレーターを務めるパネルディスカッションが開催され、ソーシャルメディアプラットフォームやAI時代における子どものデータ及びプライバシー保護について議論された。この中で、各国の規制当局が共通の懸念を有していること及びデジタル環境下において子どものオンラインプライバシー保護を強化するための方策が必要であることが強調された。

APPAメンバーは、アジア太平洋地域における効果的なプライバシー保護を推進するために、継続的な対話、情報共有及び規制協力が重要であることを改めて確認した。第65回APPAフォーラムは、メンバー、オブザーバー及び招待ゲストの相互理解の深化、現下及び新たなプライバシー課題への実務的対応の共有並びに共通課題に関する協力関係の強化を図る上で時宜を得た機会となった。

2日目の終了に当たり、コミュニケ草案が承認されて公表されることとなった。

その後、香港PCPDによる閉会挨拶をもって第65回APPAフォーラムは終了した。

以上